

細胞内診療「堀口裕先生」をお迎えして！

ドクター's 講演会

『病気の根源をつかむ』

病気は突然やってきます。急に心筋梗塞や脳梗塞を起こす方もいれば、自分は全く自覚症状がないのに健診で「がんです。」と告げられる場合もあります。

突然病気になってしまうとほとんどの場合、本人も家族の方もとても困惑してしまい、時に生活そのものいが一変してしまうことがあります。

しかし、本当に病気は突然やってきたのでしょうか？決してそうではありません。

私たちは病気が起こる「根源」を診ることによって、本当に病気が起こる体なのかどうかを早い時期から知ることができます。もし病気の起こりそうな体とわかれば、起こる前に一生懸命治療しましょう。

そうしたら生涯明るく楽しく暮らすことができます。

■日時：平成**23年10月9日（日）**

13:30~17:00

◇参加費：一般1,500円・会員1,000円（当日は500円増）

■会場：なごやボランティア・NPOセンター 第一研修室
名古屋市中区栄一丁目23番13号伏見ライフプラザ12階
地下鉄「伏見駅」6番出口から南へ350m

【講師紹介】

「細胞内診療～還元電子治療について～」



医)健翔会 堀口医院 理事長 堀口 裕先生

香川県坂出市で診療所：堀口医院を開設。診療科目は内科、外科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科
人の病気は紛れもなく細胞でおこります。ですから人が病気になるかどうか、人の病気が治るかどうかは細胞を診なければ判断できません。日常検査でそれを調べるのに考案したのが細胞内検査で、細胞の元気度：細胞の新陳代謝評価を診る検査です。

もし細胞の元気がないと分かった時、細胞の元気を取り戻すために研究開発したのが還元電子治療です。

◀細胞内診療とは？▶

人の体はどこをみても細胞で出来ています。人が病気になるのは、この細胞が病気になるのです。あなたが本当に病気にならないかどうか、あなたの病気が本当に治ろうとしているのかどうか、は細胞に聞いてみないと分かりません。それで細胞の元気を調べる検査を細胞内検査と言います。もし細胞内検査をしてみて元気がない、と分かれば元気を取り戻さなくてはなりません。細胞の元気を取り戻す方法は、その理屈が分かっていないと無理なのです。細胞は生きています。まず細胞にたまる老はい物を掃除すること、そして細胞の血液循環をととも良くすることです。その両方ができるのが電子のみです。電子を体が、細胞が上手に受け取ってくれるように配慮して作ったのが、還元電子治療です。細胞内検査で細胞を調べ、還元電子治療で細胞を治療する。この両方をあわせて細胞内診療といえます。

「病の根源は自分自身の生き方の中に！」



日本がんマネジメント協会 理事長 織田 英嗣

平成18年食道癌になり15時間の大手術を行うが5年間生存率30%未満知り、食生活をはじめ生活習慣改善などを行い「生き方」を180度変えたことで、持病だった高血圧・高脂血漿・肝障害・うつ病・パニック障害も完治し体重も20kg減。その結果現、再発の不安もなくなりガンになる以前より身体も心も健康になる。

NPO法人ガンの患者学研究所副代表理事、患者会会長として、患者さんのサポートをしてきたが、増え続けるガンに危機感を感じ「ガンが無くなる世の中を創りたい」との思いで、一般社団法人 日本ガンマネジメント協会を設立。



一般社団法人
日本がんマネジメント協会

【主催：お問い合わせ・お申し込み】

一般社団法人 日本がんマネジメント協会

事務局 0561-37-5080 FAX 0561-37-5090 メールinfo@ganmane.jp

ホームページ <http://www.ganmane.jp/>